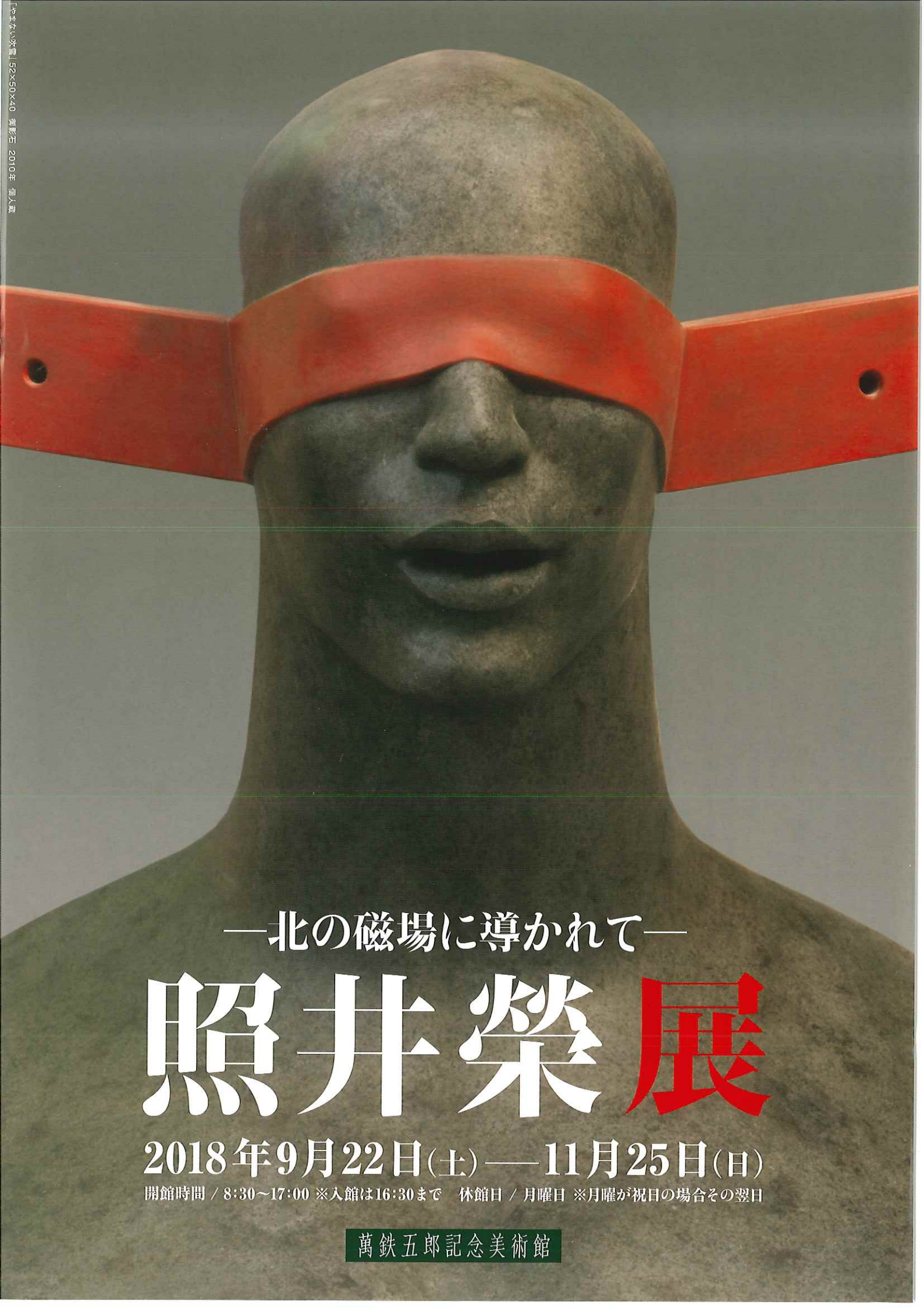




やまなひ吹雪 152×50×40 銅彫石 2010年 個人蔵

—北の磁場に導かれて—

照井榮展

2018年9月22日(土) — 11月25日(日)

開館時間 / 8:30~17:00 ※入館は16:30まで 休館日 / 月曜日 ※月曜が祝日の場合その翌日

萬鉄五郎記念美術館

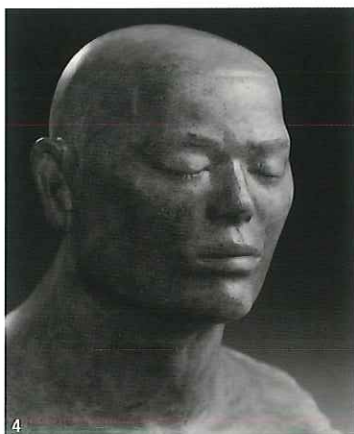
照井榮展

— 北の磁場に導かれて —

岩手県北上市出身の彫刻家・照井榮（1932年—）は、石を素材に具象彫刻に長年挑んできました。彼が創りだす石彫群は、東北の風土に根ざした奥羽山脈沿いの雪深き大自然を象徴する人物像となっています。そこには北の大地が育んだ、豊かな山野とともに暮らす人々の息づかいが感じられます。

戦後まもなく盛岡に創立された岩手美術工芸学校を経て盛岡短期大学美術工芸科に学んだ照井は、上京し美術団体「新制作協会」を中心に活動を開始します。美工時代からの師であり、新制作の先輩でもある岩手出身の彫刻家・舟越保武の助手をつとめる傍ら、固い石をコツコツと刻み存在感のある人物像を数多く制作してきました。

本展は、85歳を迎えてなお旺盛な制作意欲をみせる照井榮の近作20点に加え、初期からの代表作をあわせ約40点で照井の造形性の本質に迫ります。



1. 「冬の胡桃の木」 85×60×50 御影石 2001年 個人蔵
2. 「山上の雪の神」 55×50×40 御影石 2011年 個人蔵
3. 「赤い雲」 63×45×42 御影石 2017年 個人蔵
4. 「休む人」 49×42×32.5 砂岩 1985年 北上市
5. 「雪のうた」 64.5×56×66 安山岩 1991年 北上市
6. 「北の女（ひと）」 52×46×36 大理石 1985年頃 個人蔵
7. 「あー（大）」 66.5×62.5×51.5 安山岩 1997年 北上市
8. 「とんがり帽の男」 78×33×37 黒御影石 1974年 岩手県立美術館

【主催】 萬鉄五郎記念美術館

【後援】 岩手日報社、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、河北新報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、奥州エフエム、花巻ケーブルテレビ、えふえむ花巻

入館料 / 一般600円 (550円) 高校・学生400円 (350円) 小・中学生250円 (200円)

* () 内は20名以上の団体料金 * 学生は大学・短期大学・専門学校等を含みます

* 障害者手帳等をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料になります

萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405



・JR釜石線「土沢駅」から徒歩8分
・東北新幹線「新花巻駅」から車10分
・釜石自動車道「東和I.C.」から1km